

◆まちづくり「定例ひろば」実施記録 (1999年10月に第1回。ここでは2005年度以降～を掲載)

主催:釜ヶ崎のまち再生フォーラム

開催日時	会場	テーマ	ゲスト・スピーカー	参加者数	メモ
05年 4月12日 (火)	西成市民館	「はなすこと・きくこと・より そうこと ～紙芝居と ハーモニカでほんのりと ～」	「お寺の出前の会」 宮本直樹さん(1号庵) 浄土真 宗本願寺派・観念寺住職 大崎信久さん(2号庵) 浄土 宗・安福寺住職	25人	釜ヶ崎ではキリスト 教系の活動は活発 だが、仏教系は珍 しい。この日が「新 歴史の始まり」かも。
05年 5月10日 (火)	西成市民館	“おおさかカオサン通りブ ロジェクト(仮称)”って何 だんねん?	西口宗宏さん(「ウェルフェアマ ンション『おはな』経営者) 松村嘉久さん(阪南大学国際コ ミュニケーション学部助教授)	20人	簡易宿泊所の新活 用法による釜ヶ崎 の新しい役割がい よいよ本格化。福祉 化路線だけではない、 元気な釜ヶ崎を 語り合う
05年 6月4日 (土)	阿倍野 メディックス	ミニワークショップ 台北・ソウル・大阪の ホームレス支援施策	台北市政府社会局社会工 作員 楊運生氏 韓国 全国失職露宿者対策宗 教・市民団体協議会事務局長 丁恩一氏	40人	大阪市立大学水内 教授らの東アジア ホームレス調査プロ ジェクトとの協働
05年 7月12日 (火)	西成市民館	紙芝居劇団公演と語り 合 ○演目「ぶんぶく茶釜」○ 「自主運営」に向かっ てのあいさつ、別名「 独立宣言」(おっちゃん 代表) ○ささえ 方についての議論(関 係する有志による状 況報告や提案)	紙芝居グループ「むす び」のみなさん	25人	元野宿の高齢者た ちのこんなサークル が釜ヶ崎で育つな んて画期的! 支援 の輪の出発式
05年 9月13日 (火)	cocoroom (フェスティ バルゲート 4階)	出会い、交流、協働の プラットフォーム「起 業家カフェ」でお会 いしましょう	上田假奈代さん (NPO法人cocoroom代 表、詩人)	30人	おおさか元気ネット ワークの「出前カ フェ」を共催したも の。ねらいは社会起 業家の掘り起こし
05年 10月11 日(火)	西成市民館	「いま話題の厚労省の “自立支援プログラム” ってなんやねん?～釜 ヶ崎のおっちゃんたち もシッカリ考えよう～」	<1>加美嘉史さん(大阪体 育大学健康福祉学部講 師) <2>水内俊雄さん(大阪 市立大学教授) <3>カマヤんたちと支 援者たちはこう考 える(討論)	30人	政府や行政の動き をいち早く察知し、 いち早く構える。し かもおっちゃんたち 自身が、というスタ ンスで。
05年11 月8日 (火)	西成市民館	「今、東京で起きている こと～釜ヶ崎のおっ ちゃんたちも支援者 たちもシッカリ学ば よう～」地域生活移 行支援事業を中心 に	安江鈴子さん(NPO法 人新宿ホームレス支 援機構、季刊「シェル ターレス」編集者)	30人	今度は運動の側 の最新情報をつか む。釜ヶ崎の経験と 共通するのは「ハウ ジング・ファースト」 の考え方
05年12 月13日 (火)	西成市民館	「古き釜ヶ崎をたず ねて、新しき釜ヶ崎 を知る～今、つくら れたまち釜ヶ崎の史 実を問う～」	吉村智博さん(リバ ティおおさか・大阪 人権博物館 学芸員)	30人	「日本橋の名護町 スラム→現在地に 強制転居」論を見 直す。実は「宿」 がキーワード。釜 ヶ崎成り立は1904 年頃か。

その 1) 1 月20日 (金)	大阪人権博 物館／リバ ティおおさ か	大阪人権博物館／リバ ティおおさか 見学 ツアー	吉村智博さん(同館学芸員)が 案内	13人	釜ヶ崎やホームレ スの問題を人権の 視点からしっかりと らえ直す。おっちゃん たちの遠足も兼ね て。
その 2) 1 月21日 (土)	大阪市立阿 倍野防災セ ンター	防災体験学習ツアー	全員	15人	釜ヶ崎では防災問 題まで手が廻らな い団体が多い。そこ でまずはわれわれ がそれを示す。おっ ちゃんたちの遠足も 兼ねて。
06年 2月14日 (火)	西成市民館	「激減するばかりのアプ レ手帳。いったいなぜ？ どうする？地域への影響 は？最近の求人増の傾 向や飯場の数減少の実 態は？」	海老一郎(えび・かずお)さん (西成労働福祉センター労組書 記長)	25人	釜ヶ崎はもともと労 働者の街。その深 奥で起きている重 大な流れに迫り、と もに考える
06年 3月14日 (火)	西成市民館	釜ヶ崎のおっちゃんたち と浪速のニートのおにい ちゃんたちの出会いのタ ベ ～まずは語り合う ことから始めよう。最下 流のこの地で～	「いしくんぼ」さん ニート芸人(引きこもり20年)	15人	高齢者型野宿者問 題解決に一定のメド が見えてきた中で、 早くも若者型に対 策の目を喚起する ことがねらい。
06年 4月11日 (火)	西成市民館	西成区生活保護受給者 聞き取り調査結果の全 容	水内俊雄さん (大阪市立大学教授)	40人	この数年激増した、 脱野宿の居宅保護 者等への大規模調 査結果をどこよりも 早く知れるとあつ て、ふだんには顔 ぶれ多数が参加
06年 5月28日 (日)	平野区平野 郷一帯	平野区の「町ぐるみ博物 館」めぐり	まちづくり講和 川口良仁さん(全興寺住職)	13人	古い釜ヶ崎の誇りを 残し、新しい釜ヶ崎 をどうつくるか、楽し みながらそのヒント をつかむ。おっちゃん たちの遠足を兼ね て。
06年 6月13日 (火)	西成市民館	「ホームレス支援の立場 から、地域福祉資源とし ての仏教を考える」	川浪 剛さん (浄土真宗大谷派僧侶)	10人	「仏教って本来、” 排除された人々”の 問題にこんなにとり くんでいたのか！」 と新発見。参加者 最少人数ながら中 身は最も濃かった かも。
06年 7月11日 (火)	西成市民館	「スライド写真を見なが ら、語り合おう、釜ヶ崎 の今昔。明日に誇りを引 き継ぐために」 ～釜ヶ崎の生き証人た ちが語り合うタベ～	ファシリテーター 原口 剛さん (大阪市立大学・院生、地理学)	21人	おっちゃん参加型 ひろば」をさらにす すめて、老いてもな お元気なカマやん OBたちが思いっき り語れる場にした。 そしたら、思い出す わ思い出すわ・・・。
06年 9月12日 (火)	西成市民館	「釜ヶ崎・新世界が映っ ているロケ映画から昔 の風景を取り出し、語り 合おう。元気だった頃を 思い出そう、明日に誇 りを引き継ごう」	ファシリテーター 原口 剛さん (大阪市立大学・院生、地理学)	25人	「ピリケン」「太陽の ひろば」等を事例に 街空間の変遷をな ぞる。否定的描か れ方に怒りも。「だ からまちづくりがた いせつ」と確かめ合 えたタベ

06年 10月18 日(火)	紀州街道	鳥の目虫の目紀州街 道～まちづくり意識醸 成スタディツアー～	ガイド役 松村嘉久さんとそのゼミ生 (阪南大学教授)	20人	釜ヶ崎を南北に貫く 街道ロマンに沿っ て、わが街を別視 点で見るシリーズ。 健康・つながりづくり も兼ねた老若合体 型アクション企画
06年 11月14 日(火)	西成市民館	<釜ヶ崎形成史見直し シリーズ続編> 「192 0年代の都市大阪と 「釜ヶ崎」	吉村智博さん(リバティおおさ か・大阪人権博物館 学芸員)	20人	当時の木賃宿街内部 の暮らしぶりや人口伸 縮。公園シェルターも すでに議会で提案さ れて、今昔変わらず。 今回は、率先して戦 争体制に協力する哀 しき釜ヶ崎を学ぶ・・・
06年 12月19 日(火)	市大・西成 プラザ(太 子福祉館)	市大西成プラザ開設記念 フォーラム 「石油王とハリウッド～ 1930年代のロサンゼルス ～」	フィリップ・エシントン (南カリフォルニア大学教授)	50人	この地に調査・研 究・実践で関わって きた市大自身がプ ラザ(ひろば)を開 設。再生フォーラム の「ひろば」と新た な協働へ向かう起 点。